

被爆80年の節目に――

子どもたちの「平和の願い」を アートで未来へ。

キッズ・ゲルニカ制作ご協賛のお願い

2025年、広島は被爆から80年。この節目の年に、
子どもたちと一緒に「平和の願い」を込めたアート作品を3枚つくります。

キッズ・ゲルニカ とは

ピカソの『ゲルニカ』と同じ大きさのキャンバス（3.5m×7.8m）に、
子どもたちが平和の願いを描く、国際的アートプロジェクト

・主催するアトリエぱおでは、平和70周年の2015年から取り組みに参画し、
　教室や学校現場、イベントなどで多くの子どもたちと一緒に制作をしてきました。
・広島・長崎・京都など国内はもとより、ウクライナ、フランス、スペイン、
　インドネシアなど様々な国でも展示しています。
・過去の制作・展示も広く報道されています。

■ **制作日：2025年7月5日（土）・6日（日）**
■ **会　場：イオンモール広島府中 3F イオンホール**
■ **対　象：アトリエぱおのこどもたちをはじめ地域の子どもたち**（国籍問わない）

― ご協賛内容と掲載媒体のご案内 ―

▶ 10,000円～　お名前の記載
▶ 30,000円～　小サイズロゴ掲載
▶ 50,000円～　中～大サイズロゴ掲載 ＋ 作品貸し出し
▶ 100,000円～ 特大ロゴ掲載 ＋ 作品貸し出し
※現物ご提供（画材など）もロゴまたはお名前掲載の対象となります。

イオンモール広島府中店の大型サイネージ、チラシ、特設HP等に掲載予定です。

「キッズ・ゲルニカinひろしま2025」実行委員会事務局
アトリエぱお代表 加藤 宇章
TEL1：082-271-0870／TEL2：080-3055-3325
Mail：pao@a-pao.com

キッズ・ゲルニカ in ひろしま

ご協賛者様へのご案内

子どもたちの平和の願いを形にするこの取り組みに、
企業・団体・個人の皆さま、どなたでもご協力いただけます。

展示予定場所

2025年7月7日～8月26日
　イオンモール広島府中店 3F 通路

2025年8月3日～6日
　旧日本銀行広島支店ビル イベント「平和と、美術と、音楽と、」内にて

- その他展示場所についても、現在調整中です。
  作品展示にご協力いただける会場も随時募集中です。

ロゴ／お名前のサイネージ掲載について

広島市内最大級の商業施設**「イオンモール広島府中」の大型サイネージにて、ご協賛いただいた皆様の ロゴ／お名前を一覧で掲載**させていただきます。

掲出期間：2025年7月7日～8月26日
※旧日本銀行広島支店ビルでの展示期間を除く

掲出場所：イオンモール広島府中 層間サイネージ（展示場所下）
放映頻度：10分に1回／15秒（最低保証）

日常的に多くの来場者でにぎわう大型モールのサイネージは、
幅広い層への自然なPRにつながる場でもあります。

平和を願うこの活動とともに、社会貢献の姿勢を、
さりげなく地域へ伝える機会となります。

サイネージ掲載▶

※掲載は協賛企業一覧として、1枚のビジュアルにロゴ・名称をまとめた形式を予定しております。

※画像はイメージです。





作品の貸し出しについて

作品の貸し出しにつきましては、協賛金額やスケジュールに応じて、
ご相談のうえ対応させていただきます。
設置につきましては、基本的にご協賛者様にご手配をお願いしておりますが、
難しい場合などございましたら、お気軽にご相談ください。

ご協賛の流れ

①お申込み・ご連絡
チラシ記載のQRコード、またはメール、アトリエぱお公式LINEより
お申し込み・お問い合わせください。
▶ お名前・ご連絡先・ご希望の協賛内容をご記入ください。

②内容のご確認とご相談
ご希望内容を確認のうえ、必要に応じてご連絡させていただきます。
※作品貸し出し・展示設置についてもこの段階でご相談可能です。

③ご入金のご案内
確定後、協賛金のお振込み先などをお知らせいたします。

④ロゴ・お名前等のご提出
チラシやバナーに掲載するロゴ・お名前のデータをご提出いただきます。

⑤掲載・貸し出し等の対応
展示期間中のロゴ掲載や、ご希望の場合は作品貸し出しなどを実施します。

お申込はこちら
(Google form)

「キッズ・ゲルニカinひろしま2025」実行委員会

＜委員＞
中川　圭子（「平和と、美術と、音楽と、」）
原仲　裕三（アーチスト）
切明　佳弘（木利画材）

キッズ・ゲルニカ in ひろしま

「キッズ・ゲルニカinひろしま2025」実行委員会事務局

アトリエぱお代表 加藤 宇章
TEL1：082-271-0870／TEL2：080-3055-3325
Mail：pao@a-pao.com

アトリエぱお
公式LINEへの
お問い合わせも可

― 過去作品のご紹介 ―







— 過去作品のご紹介 —







― 過去作品のご紹介 ―




PEACE
LOVE


South


キッズ・ゲルニカ
kids Guernica in Hiroshima 2015
Let's create a nuclear-free world
The future of the earth
in our hands





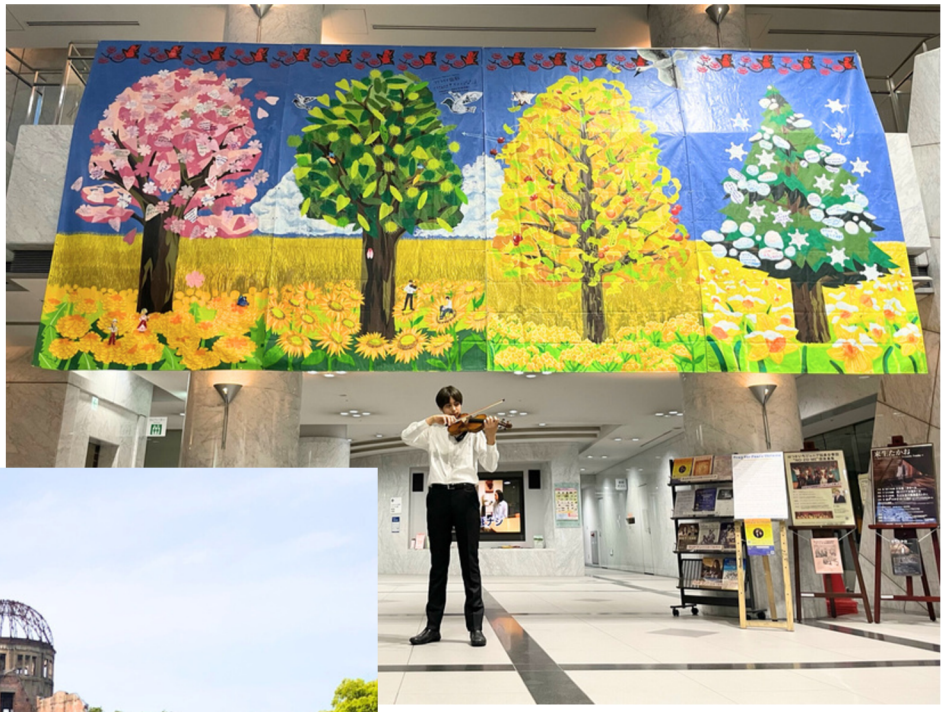


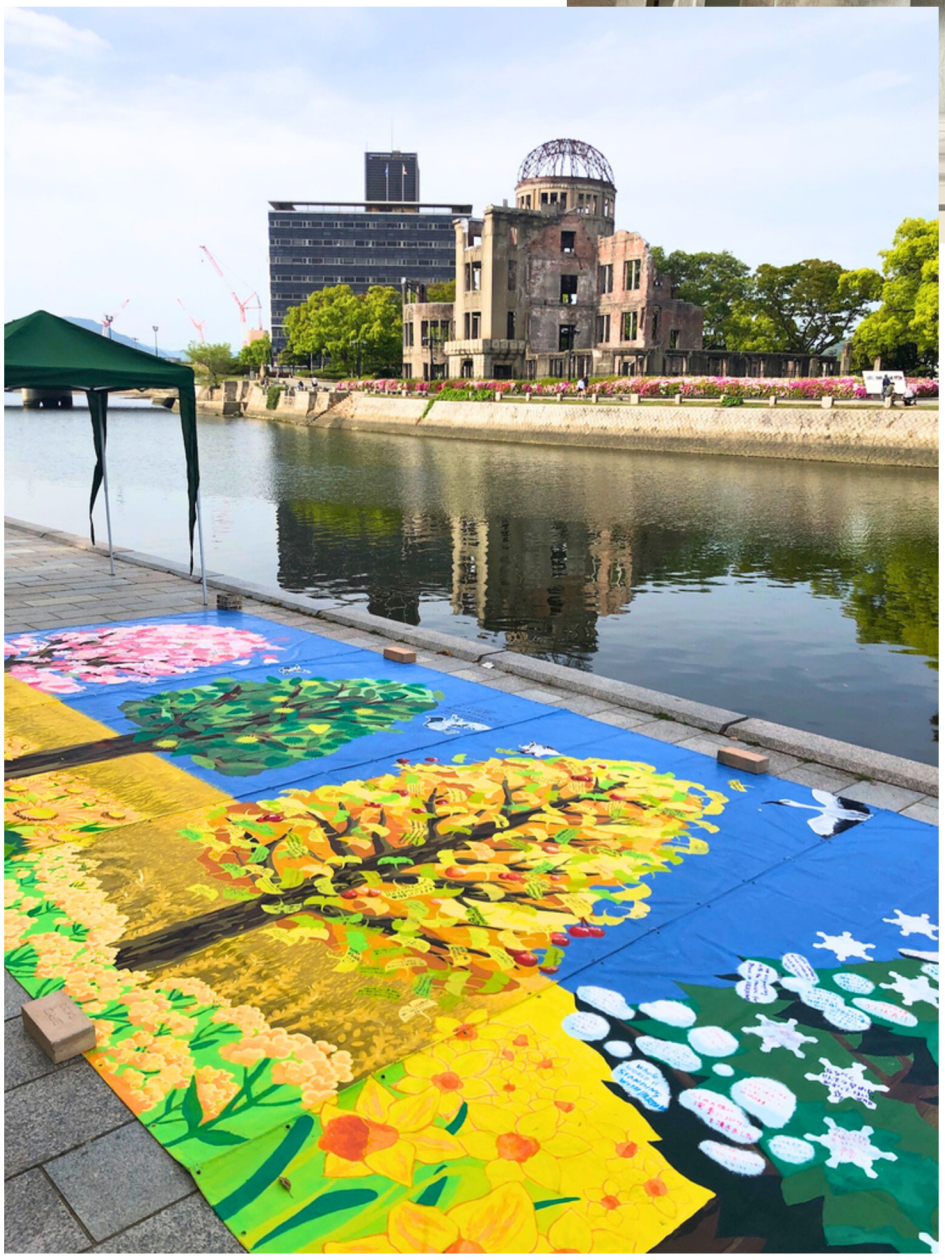


— 過去の展示・制作のご紹介 —

Pray For Peace 2022

原爆ドーム対岸、旧日本銀行広島支店ビル、県立美術館、はつかいち文化ホール、
三次市民ホール、KOI PLACE、など様々な場所で展示をしました。





Pray For Peace 2022
制作の道のり

アトリエぱおに通う園児から美大受験生、そして市民、
約200人の子どもたちが力を合わせて描きました。

「ウクライナへの支援をしたい」という子どもたちの想いを出発点に、日本とウクライナの四季をテーマに制作を行いました。
桜やイチョウなど四季を象徴する4本の木、ウクライナをイメージした小麦やひまわり、鳥や動物たち。
自然豊かな情景を描くことで、平和の大切さを表現しています。

原画のプラン作成や絵の具の調合、全体の構成などは美大受験生たちが中心となって取り組み、完成度の高い作品に仕上がりました。





また、小さな子どもたちも「スタンピング」の技法を使って花や葉っぱを描きました。
花や葉っぱには、各国の言語で平和を願うメッセージを書きました。被団協の佐久間理事長の年齢を問わず一人ひとりが作品づくりに関わりました。

子どもたちの手から生まれたこの作品には、
「平和を願う気持ち」と「アートでつながる力」が込められています。





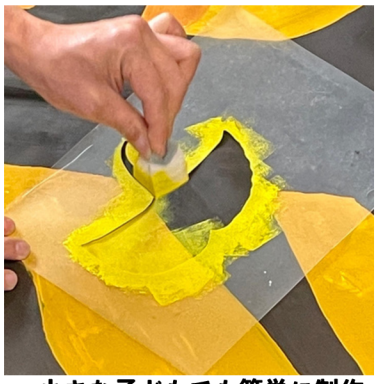
Pray For Peace 2022
制作の道のり



ウクライナにルーツを持つ、ぱお受験生



その他、様々な国のルーツを持つ
こどもたちも参加



小さな子どもでも簡単に制作
できるよう工夫



安田小アフタースクールでの指導風景



受験生が作品について協議する様子



ボランティアが集まり制作



なぎさ公園小学校（2019年）





なぎさ公園小学校
ブログ

図画工作の授業でゲルニカについて学習し、子どもたちが平和の絵を描きました。
選ばれた原画を元に、アトリエぱおでスタッフが下書き後、
1クラスずつキッズゲルニカ制作の授業を行いました。

旧日本銀行広島支店ビルでの展示後、
スペインのゲルニカ市に広島市長の親書と共に贈呈し、展示されました。



旧日本銀行広島支店ビルでの展示の様子

毎年「平和と、美術と、音楽と、」の平和希求イベントにて展示しています。











― 取材・報道実績のご紹介 ―

私たちのキッズ・ゲルニカの取り組みは、
子どもたちの平和への思いと、それを形にする過程に対して、
多くのメディアからも高い関心が寄せられました。
2015年のNHKによる密着取材をはじめ、
テレビや新聞、Webなどで広く紹介されました。

ここでは、報道実績の一部を抜粋してご紹介しています。
（※すべてを掲載しているわけではありません）

今回のプロジェクトも、**平和をテーマにしたアート活動として注目を集め、広く報道されることが期待されています。**
意義あるこの活動に、ぜひご協賛という形でご参加ください。



ウクライナ思い 反戦絵画

「キッズゲルニカ」賛同 広島市の子どもたち

出身者らメッセージ

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する広島市の子どもたちが国際プロジェクト「キッズゲルニカ」に賛同し、反戦絵画を制作している。24日にはウクライナ出身者たちも参加し、県内での同国支援のコンサートで来場者から寄せられた戦争終結を願うメッセージも書き入れた。チェルノブイリ原発事故から36年となる26日、中区の原爆ドーム対岸の元安川親水テラスで展示する。（高木友子）

絵画を制作しているのは、西区などの美術教室「アトリエばお」に通う園児から美大受験生まで約200人。縦3・5メートル、横7・8メートルのテント生地に、絵の具で日本の桜やウクライナのヒマワリ、小麦畑などの四季を描いた。講師の溝尻フェリシアーノ奏子さん（35）は「ウクライナの樹木が黒焦げになった映像を見た生徒たちが、平和の象徴として自然を描こうと構図を考えた」と話す。

教室には、ウクライナ出身の平石エレナさん（42）＝南区＝の次男幸一ラファエルさん（16）も通う。エレナさんは、三男の英心リチャードさん（14）たちが開いたチャリティーコンサートで来場者から「一日でも早く日常が戻るように」など多くの励ましを受け、「もらったメッセージを多くの人に見てもらいたい」と教室に相談。絵画制作への参加が実現した。

この日、自らも平和への願いを書き入れたエレナさんは「チェルノブイリ原発事故では多くの人がつらい思いをしたのにロシア軍は原発を攻撃した。本当に恐ろしい。どうやってこの戦争を止めるか、一人一人が考えてほしい」と訴えた。

出来上がった絵画は30日に廿日市市の文化ホールウッドワンさくらぴあ、5月7日に三次市の市民ホールきりりであるチャリティーコンサートでも展示される。

絵画は中国新聞デジタルで

「キッズゲルニカ」の絵にメッセージを書く、左から平石エレナさん、英心リチャードさん、幸一ラファエルさん、満尻さん



ウクライナや広島の子どもが描いた「キッズゲルニカ」 ひろしま美術館で特別展示

地域 広島サミット2023 広島 2023/5/16 （最終更新: 2023/5/16）

Click! HIROSHIMA SUMMIT 2023 中国新聞 G7 広島サミット特設ページはこちら

ウクライナや広島の子どもたちが平和を願って描いた巨大絵画「キッズゲルニカ」の特別展示が16日、広島市中区のひろしま美術館で始まった。19日に市内で始まる先進7カ国首脳会議（G7サミット）に合わせ、実行委員会が企画した。28日まで。

ピカソが戦争への憤りを描いた大作「ゲルニカ」（縦3・5メートル、横7・8メートル）と同サイズのキャンバスに、子どもたちが平和と希望の絵を描く国際プロジェクトの一環。第二次世界大戦中に無差別爆撃を受けたスペイン・ゲルニカ、原爆が投下された広島と長崎、ロシア軍に多くの民間人が虐殺されたウクライナ・ブチャの子どもが描いた計5枚を、美術館内の通路の壁に掲げた。

ブチャの作品は4月下旬に完成したばかり。芸術学校に通う現地の小中学生約30人がミサイルを虫取り網ですくう天使や笑顔の子ども、国花ヒマワリなどをビニールシートに描いた。プロジェクト関係者の渡辺実さん（66）＝静岡県富士宮市＝は「困難を克服し、前進しようとするたくましさが伝わってくる。サミットで広島を訪れた海外の人たちにも見てほしい」と願う。

広島の作品はピカソの作風を模して原爆ドームを描き加えるなどした2点。西区の美術教室「アトリエばお」の高校生約40人や近くののぞみ幼稚園の園児約140人が制作した。

午前9時～午後5時。入館料が必要。（向井千夏）

ピカソの「ゲルニカ」をモチーフに、のぞみ幼稚園の園児とアトリエばおの高校生が制作した作品

（写真 全6枚）



朝日新聞 DIGITAL

ウクライナ情勢 速報 朝刊 夕刊 連載 ランキング

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能

朝日新聞デジタル ＞ ウクライナの平和、取り戻して 高校生が描く「ゲルニカ」 ＞ 写真・図版

1／2

花の絵を描く高校生ら＝2022年4月23日午前11時40分、広島市西区、岡田将平撮影

この写真の記事を見る



アトリエばお 加藤宇章 代表

一時あの街はロシアに占領され
食料・水・電気もない状態だったと聞いた

過去の報道（2015年）

原爆投下から70年の節目に、広島でのキッズゲルニカ制作活動再開を実現。
原爆ドーム対岸の親水テラスにて、20作品を展示しました。
この取り組みは大きな反響を呼び、制作過程からNHKによる密着取材が入り、広く報道されました。



産経新聞　平成27年（2015年）7月25日　土曜日

子供の絵で平和訴え

広島で16年ぶり「キッズ・ゲルニカ」

子供たちが平和を願う気持ちを絵で表現した作品を展示する「キッズ・ゲルニカinひろしま2015」が24日、広島市中区の平和記念公園横を流れる元安川の親水テラスで始まり、対岸の原爆ドームとともに平和の大切さを訴える。

会場には縦2㍍、横5㍍の作品14点が川岸の壁に並んでいる。広島や長崎、インドなどに住む2～18歳の子供たち約1100人が平和をイメージして描き、平和の象徴であるハトや原爆ドームが色鮮やかに表現されている。

同プロジェクトは20年前に始まったもので、これまで世界45カ国で行われ、計300点以上制作されている。被爆70年の節目であることから、16年ぶり2回目の広島開催となった。

同プロジェクト実行委員会の加藤宇章事務局長は「アートを通じて、平和を発信する大切さを子供たちに知ってほしい」と話した。

今回の作品は27日まで展示。作品を替えて8月26～28日にも展示する。それぞれ最終日は午後6時に終了、観覧無料。



5月1日(木)　広島

中國新聞デジタル

新着　地域　スポーツ　地方経済　特集・オピニオン　教育・子ども　ライフ・文化

special　「原爆の日」特集　特集へ

私たちの「ゲルニカ」　平和公園にキッズ壁画

社会　「原爆の日」特集　原爆・平和

2015/7/25　（最終更新: 2015/7/25）

親水テラスに展示された、平和の「ピース」をはめ込む構図などの「壁画」

過去の報道（2015年）

見る・遊ぶ

2015.07.24

広島で「キッズ・ゲルニカ」　子どもたちが平和テーマに描いた絵画展示



親水テラスに絵画14点を飾る

LINE　B!
0　0

ピカソの絵画「ゲルニカ」と同じ大きさのキャンバスに子どもたちが平和の絵を描く国際的なアートプロジェクト「キッズ・ゲルニカinひろしま2015」が7月24日、平和記念公園の原爆ドーム対岸にある親水テラス（広島市中区中島町）で始まった。

参加するのは小学生を中心とした1100人の子どもたち。幼児から高校を卒業し大学受験を控えた生徒まで年齢層は幅広い。100人近い大人がサポートして、テント生地のキャンバスに絵画描いた14点の絵画を展示する。

［広告］

絵画のテーマや参加人数は制作するグループごとに異なり、インドや長崎から寄せられた絵画もある。キャンバスの大きさは安全性を考え、「ゲルニカ」を描いた縦3.5メートル、横7.8メートルから、縮小した縦約2メートル、横約5メートルにした。

過去の報道（2022年 Pray For Peace）

反戦そして世界の平和の願いを込めてこどもたちが描きました。
原爆ドーム対岸 親水テラスでの展示の様子は、特に広く報道されました。

他にも県民文化センター、はつかいち文化ホール、三次市民ホール、KOI PLACE、アトリエぱお己斐教室壁面など、様々な施設にて展示しました。

＜報道抜粋＞

4/26 広島ホームテレビ ニュース

4/26 TSSテレビ新広島 TSSライク!

4/26 NHK お好みワイド

4/25 NHK“ウクライナに平和を”願いを込めて特大絵画 お披露目

4/25 東京新聞“広島に平和願う子どもの巨大絵
チェルノブイリデーに向け展示

4/25 中國新聞 "ウクライナ思い 反戦絵画 「キッズゲルニカ」賛同
広島市の子どもたち 出身者らメッセージ"

4/25 産経新聞 "国境超え平和願う巨大絵 広島の子供たち描く"

4/24 朝日新聞 "ウクライナの平和、取り戻して 高校生が描く「ゲルニカ」"

4/23 朝日新聞 "ウクライナを被爆者と訪れ、平和な日常描いた女性
支援のバッジ制作"

3/14 中國新聞 "平和願うウクライナの子の絵、広島市内の各地巡回
「キッズゲルニカ」2017年の作品、露の侵攻に思いはせて"

その他、多数のメディア

過去の報道（2022年）

新聞 （第三種郵便物認可）

ウクライナ思い 反戦絵画

「キッズゲルニカ」賛同 広島市の子どもたち

出身者らメッセージ



「キッズゲルニカ」の絵にメッセージを書く、左から平石エレナさん、英心リチャードさん、幸一ラファエルさん、溝尻さん

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する広島市の子どもたちが国際プロジェクト「キッズゲルニカ」に賛同し、反戦絵画を制作している。24日にはウクライナ出身者たちも参加し、県内での同国支援のコンサートで来場者から寄せられた戦争終結を願うメッセージも書き入れた。チェルノブイリ原発事故から36年となる26日、中区の原爆ドーム対岸の元安川親水テラスで展示する。（高本友子）

絵画を制作しているのは、西区などの美術教室「アトリエぱお」に通う園児から美大受験生まで約200人。縦3・5㍍、横7・8㍍のテント生地に、絵の具で日本の桜やウクライナのヒマワリ、小麦畑などの四季を描いた。講師の溝尻フェリシアーノ奏子さん(35)は「ウクライナの樹木が黒焦げになった映像を見た生徒たちが、平和の象徴として自然を描こうと構図を考えた」と話す。

教室には、ウクライナ出身の平石エレナさん(42)＝南区＝の次男幸一ラファエルさん(16)も通う。エレナさんは、三男の英心リチャードさん(14)たちが開いたチャリティーコンサートで来場者から「一日でも早く日常が戻るように」など多くの励ましを受け、「もらったメッセージを多くの人に見てもらいたい」と教室に相談。絵画制作への参加が実現した。

この日、自らも平和への願いを書き入れたエレナさんは「チェルノブイリ原発事故では多くの人がつらい思いをしたのにロシア軍は原発を攻撃した。本当に恐ろしい。どうやってこの戦争を止めるか、一人一人が考えてほしい」と訴えた。

出来上がった絵画は30日に廿日市市の文化ホールウッドワンさくらぴあ、5月7日に三次市の市民ホールきりりであるチャリティーコンサートでも展示される。

動画は中国新聞デジタルで

ウクライナを思い みんなでゲルニカ

広島の高校生らが巨大絵画



ロシアによるウクライナ侵攻を受け、広島の高校生らが平和への願いを込め、タテ3・5㍍、ヨコ7・8㍍に及ぶ大きな絵を制作している＝写真。画家ピカソがスペイン・ゲルニカへの無差別空爆に対する怒りを込めた「ゲルニカ」と同じサイズで描く「キッズゲルニカ」の企画。できあがった作品は26日に、広島市中区の原爆ドーム対岸の親水テラスで展示される予定だ。

作品は、日本やウクライナの四季を織り交ぜ描く。桜やイチョウといった4本の木、ウクライナをイメージした小麦やひまわりなど自然の情景を通して、平和の大切さを訴える。

24、25日午前10時～午後4時には、一般の人も制作に参加できる。ウクライナのチェルノブイリ原発事故から36年、ゲルニカへの空襲から85年となる26日には展示に加え、長崎やゲルニカなどとオンラインでつなぐ集会が午後5時から開かれる。問い合わせは「アトリエぱお」の加藤宇章さん（080・3055・3325）。（岡田将平）

過去の報道 （2022年）

巨大絵に描く平和

「キッズゲルニカ」世界7都市つなぐ

中区で展示

平和をテーマとした絵「キッズゲルニカ」を広島や長崎、スペイン、フランスの7都市に展示し、ウエブ会議でつなぐアートイベントが26日開かれた。1937年のスペイン・ゲルニカ空爆、1986年のウクライナ・チェルノブイリ原発事故が起きた日で、ウクライナ危機を受けた平和への祈りを各会場でリレーした。

キッズゲルニカは、画家ピカソがスペイン内戦の空爆に抗議して描いた「ゲルニカ」と同じ大きさ（縦3・5㍍、横7・8㍍）の絵を描く国際的な取り組み。海外会場ではウクライナの子どもが描いた絵を展示した。広島では雨天の予報だったため、地元の子どもたちが描いた絵や音楽演奏など、前日に中区で展示、撮影した動画を流した。

バイオリンとピアノを弾いた平石英心リチャードさん(14)と岡野純大さん(16)は26日、英語で「ウクライナに栄光あれ。皆応援しています」などと発信。2人は「支援しているのは僕らだけではないと思えた」と感動した様子だった。広島会場のコーディネーターで造形作家の加藤宇章さん(61)は「平和を願うアートや音楽で市民を包みたい。少しでもウクライナの力になれたら」と話した。【矢追健介】



子どもたちの描いた絵を川べりに並べ、バイオリンとピアノの合奏が動画収録された＝中区で

「ウクライナに平和を」

ドーム前で市民ら集い

ロシアのウクライナ侵攻を受け、戦争や核兵器反対を訴える集いが10日、広島市中区の原爆ドーム前であった。呼び掛けた広島の市民グループ「核政策を知りたい広島若者有権者の会」（カクワカ広島）によると、被爆者や市民たち約750人が集まった。



原爆ドーム前でウクライナの平和を願う参加者

参加者は「ウクライナに平和を」などと書かれたプラカードや横断幕を掲げて黙とう。続いてロシアのプーチン大統領による核兵器使用を示唆する発言やロシア軍による無差別攻撃に対し、若者や被爆者計10人がマイクで思いを語った。

カクワカ広島の田中美穂共同代表(27)は「今こそ戦争反対、核兵器反対の声を上げないといけない」と強調。母親がウクライナ出身の高校2年平石幸一さん(16)＝南区＝は「みんなで力を合わせて戦争を止めよう」と呼び掛けた。

県被団協の箕牧智之理事長(80)は「核兵器は廃絶しかない」。もう一つの県被団協の佐久間邦彦理事長(77)は生後9カ月で被爆した自身の経験を踏まえ「現地では子どもが犠牲になっている。こんなことがあっていいのか」と力を込めた。

カクワカ広島はこの日の様子を映像作家時川英之さん(49)＝西区＝の協力を得て収録。参加者たちの平和を訴えるメッセージに英語とロシア語の字幕を付けて後日、交流サイト（SNS）で発信する。（小林可奈）

過去の報道　（2022年）


アトリエぱお
加藤 宇章 代表
一時あの街はロシアに占領され
食料・水・電気もない状態だったと聞いた


6:31
願うのはウクライナの平和
子どもたちの絵通した交流
加藤宇章さん
okonomi お好み
芸術というのは ことばの垣根がないのと


Takafumi Kato
Atelier Pao
加藤 宇章 代表
アトリエぱお 造形教育研究所
As someone who lives in Hiroshima
and is vocal for peace,
広島に住んで 平和を訴える者たちとしては

過去の報道（2023年 ひろしま美術館での展示）

G7サミットに合わせ、ひろしま美術館で展示をしました。
中国新聞をはじめ、複数報道されました。

ウクライナや広島の子どもが描いた「キッズゲルニカ」 ひろしま美術館で特別展示

地域 広島サミット2023 広島

2023/5/16 （最終更新: 2023/5/16）

Click! HIROSHIMA SUMMIT 2023
中国新聞 G7 広島サミット特設ページはこちら

ウクライナや広島の子どもたちが平和を願って描いた巨大絵画「キッズゲルニカ」の特別展示が16日、広島市中区のひろしま美術館で始まった。19日に市内で始まる先進7カ国首脳会議（G7サミット）に合わせ、実行委員会が企画した。28日まで。



ピカソの「ゲルニカ」をモチーフに、のぞみ幼稚園の園児とアトリエぱおの高校生が制作した作品



（写真　全6枚）

ピカソが戦争への憤りを描いた大作「ゲルニカ」（縦3・5メートル、横7・8メートル）と同サイズのキャンバスに、子どもたちが平和と希望の絵を描く国際プロジェクトの一環。第二次世界大戦中に無差別爆撃を受けたスペイン・ゲルニカ、原爆が投下された広島と長崎、ロシア軍に多くの民間人が虐殺されたウクライナ・ブチャの子どもが描いた計5枚を、美術館内の通路の壁に掲げた。

ブチャの作品は4月下旬に完成したばかり。芸術学校に通う現地の小中学生約30人がミサイルを虫取り網ですくう天使や笑顔の子ども、国花ヒマワリなどをビニールシートに描いた。プロジェクト関係者の渡辺実さん（66）=静岡県富士宮市=は「困難を克服し、前進しようとするたくましさが伝わってくる。サミットで広島を訪れた海外の人たちにも見てほしい」と願う。

広島の作品はピカソの作風を模して原爆ドームを描き加えるなどした2点。西区の美術教室「アトリエぱお」の高校生約40人や近くののぞみ幼稚園の園児約140人が制作した。

午前9時～午後5時。入館料が必要。（向井千夏）

過去の報道（2023年 ひろしま美術館での展示）

朝日新聞 > 記事

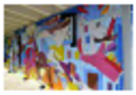
虐殺の地ブチャの子らが描いた「ゲルニカ」 ひろしま美術館で展示

岡田将平　2023年5月17日 10時30分

list 0



ウクライナ・ブチャの学校の生徒たちが描いた「キッズゲルニカ」の作品=2023年5月16日午前9時49分、広島市中区、岡田将平撮影


子どもたちは笑顔を浮かべ、青い空を鳥が舞う。日常を描く鮮やかな絵には戦闘機の姿も――。ロシアの侵攻で虐殺が起きた ウクライナ ・ ブチャ の生徒たちが描いた作品などの展示が16日、 広島市中区 のひろしま美術館で始まった。

ピカソが スペイン ・ ゲルニカ への無差別空爆に対する怒りを込めて描いた「ゲルニカ」と同サイズの縦3・5メートル、横7・8メートルに子どもたちが描く「キッズゲルニカ」の作品。「ゲルニカ」の図柄に 広島市西区 の のぞみ 幼稚園の園児たちが色を塗った作品もあり、長崎を含め国内外の計5作品が掲げられている。

展示は G7サミット にあわせ、子どもたちの平和への願いを伝えようと企画された。広島での制作にかかわったアトリエぱお代表の加藤宇章（たかふみ）さん（62）は「平和な日常が早く戻ってほしい」。遠藤克彦園長（55）は「子どもたちには平和の担い手になってほしい」と話した。

28日まで。同館では特別展「ピカソ　青の時代 を超えて」を開催中。「キッズゲルニカ」を見るには入館料（一般1800円、大学生1300円）が必要。高校生以下は無料。